

青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

成長を実感した 新学期の始まり

始業式の前夜、発熱があり朝になっても下がらなかった。病院で検査したところ、コロナに感染していることが判明し一週間の療養となりました。

遅れての新学期の始動となりましたが、久しぶりに会った子供たちからは気遣いをしてもらい、相変わらずの優しい気持ちに救われる思いでした。

復帰してすぐにそれぞれの学年が大きな行事に取り組み、私は三年生の修学旅行に同行しました。天候が心配されましたが、台風の影響は最小限で予定通りの旅程で行うことができました。日々の行動の中で実行委員を中心にまとまり、時間を意識し、見通しをもって活動に取り組みました。たった三日間で成長する姿、中でも確実に成長する姿、そして仲良くなる姿がはつきりと感じられました。

「出発進行！笑って始まり笑って終わる」のスローガンのもと自分たちの手で思い出に残る旅行にしていこうという思いが強く感じられました。

あつという間の三日間でしたが、やり切った満足感と終わってしまった寂しさで心の中にずつと残るであろう素晴らしい旅でした。

一・二年生もそれぞれの活動を精力的に行い、自分たちの成長につなげたようです。今週の様子を見てみると、少しだけですが「大人になったかな」と思います。夏休み、そして学期ごとの活動を経て、忙しい二期に突入しました。私は出遅れてしまいましたが、この素晴らしい青嶺中学校を創っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしく願います。

始業式で

参加できなかった始業式で、前田教頭先生に読んでもらった内容を以下に載せます。「なぜ勉強するのか」についてです。

今年の夏は今年限りの、二度と帰ってこないかけがえのない夏、どんな毎日をご過ごしましたか？中体連の県大会を始め、ホッケーの下平さんの全国大会出場、平松君、田中君のリトルでの活躍、そして中島くんは、遠くアメリカに行きチームは準優勝、また個人ではMSPという盗塁王を受賞しました。皆さんそれぞれにとって、忘れられない2025年の夏であったと思います。一生のうちで何度か訪れる「輝ける夏」であったことを願います。

さて夏休み期間中の佐賀新聞に、三年生の皆さんが国語の授業で書いた作文が多く掲載されました。相手の立場や多角的な面から考え行動することの大切さであったり、噂話を簡単に信じないようにする呼びかけであったり、思いやりの気持ちをもつて行動することの大切さであったり、中学生らしく、読み手に真剣に訴えかけており、非常に感動しました。

私は富山県で国語の発表を行い、先週は九州の中学校の校長が熊本に集まり、学校経営について熱く議論を交わしました。今年五七歳になりますが、常に勉強し自分自身を更新し続けて行くことの大切さを実感しています。

今日は皆さんに勉強することの意味について、ある記事を紹介いたします

「なんで勉強なんかしなきゃいけないの？」という質問に母が机にコップを置いてこう答えた。

算数を学べば

この中に200mlの水があると数字で見えるようになり

理科を学べば

この水は水素と酸素からできていることを知ることができる

社会を学べば

この水がどこから来たのかわかり、そして世界にはこの綺麗な水を飲むことができない人たちがいることを知ることができる

美術を学べば

この水の反射を自分で綺麗に描くことができるようになるし

音楽を学べば

同じコップでも水の量で音を変えられることにも気づける

技術を学べば

このコップがどんな素材でなぜ漏れないかわかり、人の創造の凄さを知ることができる

保健体育を学べば

この水が体にどれだけ大切なのか、健康を支える命の正体が見えてくる

道徳を学べば

この水を誰かと分け合うことの大切さを学べて、思いやりの心が育ち

国語を学べば

私が話した全部の意味を正しく理解できるようになり

英語を学べば

この話を世界中の人と分かち合えるようになる

哲学を学べば

この話は何の意味があるのか考えられるようになる

でも、もし何にも学ばなかったらこのコップの中にあるのはただの水で終わる

だから勉強する。この世界をただ見ているだけの人生で終わらせないために。

皆さんが勉強したこと、考えたことはきちんと向き合って、実行に移してこそ意味を持ちます。学ぶことで昨日の自分から少し前進し、成長するのです。

確かでないうわさ話や、本当かどうか分からない悪口を、何も考えずに広めることは本当に愚かな行為です。なぜならこの行き着く先は、いじめ、対立、憎しみ合いにつながり、最終的には戦争になっていく。世の中で争いや戦争をなくすために対話を学び、メディアリテラシーを学び、そして想像力を養うのです。三年生が新聞紙上で全国に向けて投げかけたことのひとつひとつを、青嶺中学校全体で実行に移しましょう。そして素晴らしい学校を、地域を一緒に創り上げましょう！